

令和5年度事業報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

I 教育研究助成事業

1 研究助成

(幅広い分野の独創的・先駆的な研究に対して必要な研究経費の助成)

No.	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名	助成額
1	一関工業高等専門学校	システム創造工学専攻 2年 及川 篤弥	スパッタリング法を用いた酸化ガリウムのSi Sn co-dope 成長による電気伝導度制御とデバイスへの応用	200,000 円
2	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 石川 佳歩	肢体不自由者のQOL改善と社会実装に向けた頭部操作式インターフェースの動作信頼性評価	200,000 円
3	木更津工業高等専門学校	制御・情報システム工学専攻 1年 大久保 友弘	ディープラーニングを用いたフラワーネットの画像検知による植え位置の計算	200,000 円
4	木更津工業高等専門学校	機械・電子システム工学専攻 2年 榎本 知世	装着型パワーアシストシステムにおける機械学習による人間の腕の動作判別	200,000 円
5	奈良工業高等専門学校	システム創成工学専攻 1年 西前 太郎	赤外線サーモグラフィを用いた茎熱収支法によるトマトの樹液流量算出	200,000 円
6	津山工業高等専門学校	機械・制御システム工学専攻 1年 渡部 乃愛	リン化チタンの熱分解反応を利用した金属チタンの新製造プロセスの開発	200,000 円
7	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン工学専攻 1年 栗栖 祐子	マイクロ流路を用いたハイスループット血中エクソソーム分離デバイスの開発	200,000 円
8	高知工業高等専門学校	ソーシャルデザイン工学専攻 2年 岡本 尚太	国内外において観測された強震動に対する新しく開発された免震・制震ダンパーを採用した基礎免震建物及び中間層免震建物の免震層最大変位応答量に関する研究	200,000 円
9	久留米工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 植野 太耀	表面化学が最適化されたBDDPを担体とした燃料電池用空気極の開発	200,000 円
10	熊本高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 津田 宗一郎	音波を用いた干潮帯における海底地質調査手法の開発	200,000 円

2 海外市場探究奨学金
 (海外における産業、社会を積極的に探究する学生への奨励助成)

No.	所属・氏名	テーマ	渡航先	奨学金額
1	長岡技術科学大学 電気電子情報工学課程 井脇 蒼葉	ベトナムの露天販売の現状と衛生 環境の実態調査	ベトナム	60,000 円
2	長岡技術科学大学 機械創造工学課程 竹内 克成	インドにおける産業の今と今後の 発展性	インド	60,000 円
3	長岡技術科学大学 情報・経営システム工学課程 升田 圭亮	日系製造業のタイにおける立地の 地方分散の可能性に関する調査	タイ	60,000 円
4	長岡技術科学大学 情報・経営システム工学課程 矢作 優樹	ルーマニアにおけるIT産業の 現状調査	ルーマニア	60,000 円
5	長岡技術科学大学 情報・経営システム工学課程 土屋 優	ルーマニアのIT市場の発展の 調査	ルーマニア	60,000 円
6	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学課程 小林 紗恵	ベトナムにおける環境問題の現状 と環境ビジネスへの日系企業の参 入見込み	ベトナム	60,000 円
7	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学課程 樺澤 壮太	スペインバスク地方における農業 の現状と今後の拡大性	スペイン	60,000 円
8	長岡技術科学大学 電気電子情報工学課程 細木 真歩	インドでの生活用品の販売価格お よび学生の金銭感覚の調査+日本 人学生との比較	インド	60,000 円
9	長岡技術科学大学 電気電子情報工学課程 木原 由晴	物価からみるタイ都市部のインフ レーションの実態	タイ	60,000 円

令和4年度海外市場探究奨学金助成者による成果報告会は実施なし。

II 産学地域連携交流事業

1 産学地域連携事業支援

長岡技術科学大学主催の講演会等の後援を行い、地域社会に開催を周知する事業。
 依頼がなかったため後援はなし。
 会員等に情報誌やイベントの案内を送付したほか、大学主催のイベント情報を発信した。

2 先端技術・施設見学会の実施

(1)施設見学会を実施した。

- ・実施期日：令和5年12月12日（火）
- ・見学先：JAXA 筑波宇宙センター（茨城県つくば市）
- ・参加者：22人

3 産学地域交流会の実施

(1)技術開発懇談会を長岡技術科学大学との共催により実施した。

①・開催期日：令和5年11月8日（水）

・開催場所：直江津学びの交流館

・内 容：1. 「超音波切削加工による部品表面への機能性付与
～すべる？とまる？たまる？みえる？～」

講師：磯部 浩巳 氏〔長岡技術科学大学 機械系 教授〕

2. 「ものづくりの研究・教育を通じた人材育成・地域貢献を考える
～超音波切削技術の応用からミニ電車づくりまで～」

講師：原 圭 祐 氏〔長岡技術科学大学 機械系 准教授〕

3. 情報提供「長岡技術科学大学の産学官連携の紹介」

講師：山崎 栄一 氏〔長岡技術科学大学 産学官連携コーディネーター〕

・参加者：18人

②「DXの始め方」

・開催期日：令和5年11月29日（水）

・開催場所：MUSUBI-BA（南魚沼市事業創発拠点）

・内 容：1. 「DXの基礎」

講師：湯川 高志 氏〔長岡技術科学大学 情報・経営システム系 教授〕

2. 「新潟大学ビッグデータアクティベーション研究センターご紹介」

講師：島崎 義之 氏〔新潟大学 社会連携推進機構 産学イノベーション
推進部門 産学官リサーチ・コーディネーター〕

3. 「失敗から学ぶ中小企業のDX実践法と経営者が果たすべき役割」

講師：セキ技研株式会社

4. 「NICOの研究開発支援」

講師：にいがた産業創造機構

・参加者：28人

(2)企業・学長交流会を実施した。

・開催期日：令和6年1月30日（火）

・開催場所：ホテルニューオータニ長岡

・参加者：35人

(3)企業・学生交流会

コロナ前は長岡技術科学大学の合同企業説明会の開催期間に合わせて実施しており、令和5年度も同様に実施する計画であったが、合同企業研究会の開催時期・時間・内容等が以前と変わったこともあり、企業・学生交流会も以前と同じ内容での開催は困難な状況となったため実施なしであった。

4 地域社会向け研究成果等活用事業の実施

長岡技術科学大学と連携して、同大学がもつ財産（研究成果、専門的知識、施設、卓越した人材）を積極的に地域社会に活用してもらうため、企業や市民のニーズによる講師派遣や、講座・出前教室等を開催することで、大学と地域住民の交流を深め、さらには人材育成、地域社会の活性化に貢献することを目的に、大学の施設を活用した水泳教室や大学教員の専門的知識を活用したスキー教室、大学のヨットを活用した講座等を実施する事業。

※ 水泳教室は、小学生を対象とし、夏季と秋季の2回実施した。

夏季は7～8月（6回と12回コース）、参加者は60人。

秋季は9～10月（6回と12回コース）、参加者は60人。

指導は、経験と実績をもつ外部講師及び長岡技術科学大学の体育担当教員、サポートとして長岡技術科学大学の水泳部員があたった。

スキー教室は、小学生対象、指導は経験と実績をもつ外部講師及び長岡技術科学大学の体育担当教員として、1～2月に実施の計画であったが、小雪のため実施なしであった。

ヨット事業は、一般向け乗船体験会を10月に計画したが、悪天候（前日の大雨、当日は高波が予想された）により中止した。

Ⅲ 同窓会事務請負事業

収益事業として、長岡技術科学大学同窓会の事務の一部を請け負った。

Ⅳ その他

財団の活動や事業案内を載せた情報発信紙「かわらばん」（年 5 回）は、令和 5 年度は休刊とした。

附属明細書

事業における重要な事項は令和 5 年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。